

「神をほめたたえる 2023 年」

エペソ 1 章 3-14 節

エペソ人への手紙は、2000 年前のクリスチャンたち、その集まりである教会にとって信仰に生きることのガイドラインとして大いに用いられました。

<賛美を受ける価値がある神>

「父なる神と主イエス・キリストから恵みと平安があなた方にありますように」

エペソ 1:3 「私たちの主イエス・キリストの父である神がほめたたえられますように。」

神社に行くと…「家内安全、商売繁盛、夫婦円満、健康祈願、安産祈願…」

<賛美と感謝の違い>

感謝は「…してくださって感謝します」

願いは「…してください」

賛美は「あなたは素晴らしい方」「あなたは賛美を受けるにふさわしい方」

<レアの賛美>

創世記 29:31-35

ルベン＝「主は私の悩みをご覧になった。今こそ夫は私を愛するでしょう」＝子を見よ！

シメオン＝「主は私が嫌われているのを聞いて、この子も私に授けてくださった」＝聞いた

レビ＝「今度こそ、夫は私に結びつくでしょう。私が彼に三人の子を産んだのだから」

ユダ＝「今度は、私は主をほめたたえます」

マタイ 1:1-3



<神をほめたたえる理由>

- ① 世界の基が据えられる前から、キリストにあって…私たちを選んでくださったから
- ② 神の御前に、聖なる、傷のない者にしようとされたから
- ③ 御心によって、イエス・キリストによってご自分の子(神の子)にしようとあらかじめ定められたから。
その動機は？

詩編